

文化を創る、フラッグシップ。

2023 秋

GRANSHIP

グランシップマガジン vol.35



GRANSHIP グランシップマガジン vol.35 2023年9月15日発行

特集

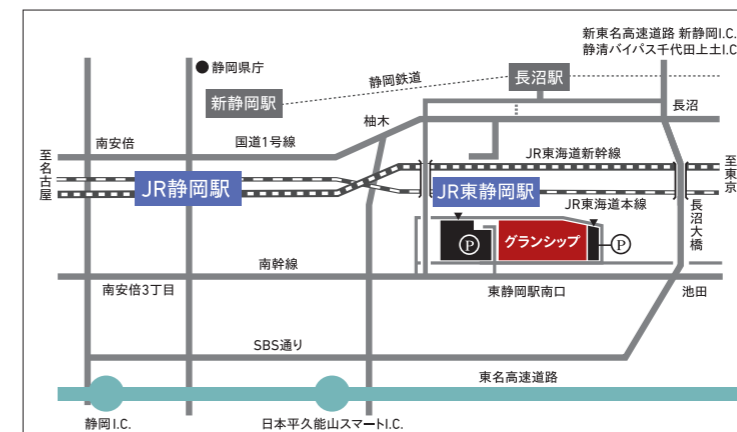
今、多彩なジャンルの ピアノ演奏を劇場で楽しもう

公益財団法人 静岡県文化財団

GRANSHIP サポートズEYE



M.オルソップ指揮 ポーランド国立放送交響楽団 ピアノ:角野隼斗 撮影サポーター:横田川 毅



ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
日本平久能山スマートI.C.から10分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分



静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団
〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <https://www.granship.or.jp>



今、多彩なジャンルの ピアノ演奏を 劇場で 楽しもう

世界のコンクールから家庭や日常のさまざまな場面で
音色を響かせているピアノは今、
クラシックもジャズもポップスも
多彩なスタイルとジャンルがおもしろい。
この秋からグランシップでは、
聴きたい、楽しみたい、話題のピアノ公演が目白押しです。
誕生から今までの軌跡をなぞる特集から好奇心を高め
ピアノをもっと楽しんでみましょう。

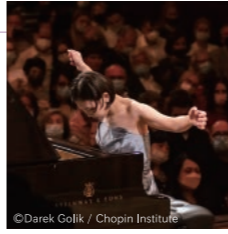
03 GRANSHIP Special Event
今、多彩なジャンルの
ピアノ演奏を劇場で楽しもう

08 Interview
スペシャルインタビュー・安壇 美緒
非日常を得られるという点で
小説と音楽は近いのかもしれない。

10 Pick up
新年はクラシックで華やかに、ドラマチックに！
静岡ガス PRESENTS
グランシップ&静響ニューイヤークンサート Vol.22

11 Column
岩下尚史の
伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。
Vol.35 歌舞伎の危機？

12 GRANSHIP Event Calendar
2023年10月〜12月
グランシップイベントカレンダー



16 Exhibition
しずおかを巡り地域で見つける文化芸術の魅力
10月〜12月のイベント情報

20 Information
ふじのくに地球環境史ミュージアム &
静岡県富士山世界遺産センター

22 Information
SPAC
『伊豆の踊子』を演出する多田淳之介と、
『お艶の恋』を演出する石神夏希にインタビュー
文豪による小説の舞台化に挑む
SPAC 秋→春のシーズン
2023・2024 ラインナップ

24 Information
静岡県立美術館
狩野派400年の歴史を名品によって辿る
永青文庫×静岡県の狩野派
『大名の名宝』の魅力。

26 Outreach
グランシップ 子どもアート体験！学校プログラム
「関連アウトリーチ
「うずを描こう！ワークショップ」

27 Information & Communication



表紙の絵



浦田周社 《砂丘晩夏》1976年 515×725mm 木版画

〈夏の終わり。浜岡砂丘の夕暮れ時を表した構図。天竜川から流出する土砂が、遠州の空っ風によって創り出される風景。〉

浦田周社(うらた かねたか)

1939年静岡市生まれ。高校卒業後、家業である浮世絵処「版隈」六世を継ぐ。1976年文化庁認定重要民俗文化財選定保存技術保持者に認定。浮世絵木版画彫摺技術保存協会会員となる。1994年静岡市芸術文化奨励賞受賞。1999年静岡県文化奨励賞受賞。2016年静岡県知事表彰受賞。2019年令和元年度文化庁地域文化功労者表彰受賞。2016年静岡産業大学内に「浦田周社木版画美術館」開館。構想から彫り、摺りまで自ら手がけ作品を制作する一方、伝統技法の継承保存や版画の伝承、普及に尽力する。白日会会員、国際浮世絵学会会員、東京伝統木版画工芸協会会員、静岡県版画協会顧問。

今も昔も世界の舞台で愛される

ピアノと静岡のストーリー

静岡県が世界に誇るピアノ産業。国産ピアノの誕生から普及、ピアノ文化の発信に至るまで、静岡とピアノの物語。

日本製ピアノ 誕生の日

2大メーカー創業者の出会いが引き寄せた誕生ストーリー

文部省唱歌を歌うため、全国の小学校にオルガンが導入された明治時代。浜松で機械修理職人をしていた山葉寅楠はオルガン修理をきっかけにピアノ製作への夢を抱き、日本楽器製造（現在のヤマハ株式会社）を立ち上げます。その山葉に弟子入りしたのが河合小市。まだ10代前半だったそうです。発明の天才少年を得た山葉は、ピアノ開発を決意し渡米。日本に残った河合はピアノの構造の研究に打ち込みます。そして明治33年、二人の技術を合わせたピアノが誕生。ロマンを追いかめた二人の天才が、日本楽器産業史の扉を開きました。



まだ鉄道が通っていなかった頃に東京でオルガンの評価を受けたヤマハ創業者の山葉寅楠。(写真提供:ヤマハ株式会社)



41歳の時、自分を慕って集まった仲間と起業した河合楽器製作所創業者の河合小市。(写真提供:河合楽器製作所)

高度経済成長期 全国に普及

ピアノが暮らしに加わり、世界のトップシェアへ

昭和30年代に入ると経済活動が進み、国民に豊かさをもたらしました。生活を楽しむ様々な製品とともに、ピアノも身近なものに。子どもの稽古事が流行し、教育活動を通してピアノを広めたのが民間企業の音楽教室でした。ヤマハ音楽教室（前身はオルガンの教室）やカワイ音楽教室が創設され、ピアノを気軽に学べる環境がにわかに浸透。それに応えようと、両社の生産力・販売力が急伸し、昭和44年にヤマハがピアノ生産台数で世界1位に。現在はヤマハに次ぎ、カワイが世界2位のシェアを占めています。昨今は、コロナ禍での“ステイホーム”需要から、再び人気を集めています。



昭和30年頃のグランドピアノ工場。(写真提供:ヤマハ株式会社)



昭和31年開設当時の音楽教室、1人1台のオルガンを使ったグループ授業も行われていた。(写真提供:河合楽器製作所)

浜松国際ピアノコンクールから 世界へ発信

若手ピアニストの登竜門 世界の舞台で選ばれる名品も誕生

世界屈指のピアノのまちとして、文化の花を咲かせようと、「浜松国際ピアノコンクール」が生まれました。3年に一度、各国から若手演奏家が集まり、ヤマハやカワイはもちろん、世界的メーカーであるスタインウェイのピアノを弾いて競い合います。近年は、ヤマハやカワイのピアノで優勝する演奏家も多く、その演奏家が世界最高峰の「ショパン国際ピアノ・コンクール」で優勝を果たすケースも見られます。素晴らしい演奏を浜松の2大メーカーが支えています。



10/23(月) グランシップのステージに登場!



2021年「第18回ショパン国際ピアノ・コンクール」で第2位を受賞したアレクサンダー・ガジェフ(写真左)は、河合楽器製作所のフルコンサートピアノ「SK-EX」を使用した。(写真提供:河合楽器製作所)



2010年「第16回ショパン国際ピアノ・コンクール」で優勝したユリアナ・アヴデーエワは、ヤマハのフルコンサートピアノ「CFX」を使用した。(写真提供:ヤマハ株式会社)

バッハが弾いていたのはチェンバロだった

ピアノの変遷と作曲家たち

ルネサンス期から現代まで、世界でもっともポピュラーな楽器となったピアノの進化と作曲家たちとの関わりを探ってみましょう。

ピアノは、形は鍵盤楽器ですが、弦を叩くことで音が出る弦楽器でもあり、打楽器でもあります。西洋音楽史に初めてピアノの元となる楽器が登場するのは1700年代。それ以前のルネサンス期に、鍵盤と弦を用いたクラヴィコードが誕生しました。バロック期はオペラの誕生とともに幕が開きます。代表的な楽器がチェンバロ。宮廷では毎晩のように晩餐会が催され、音楽家は教会や宮廷のために作曲・演奏する職人音楽家でした。バッハもチェンバロで多くの曲を作りました。



ヨハン・ゼバスティアン・バッハ

Johann Sebastian Bach (1685-1750)

高音部や弾きやすさを助言したという
ジルバーマン製フォルテピアノ。
そのピアノで即興演奏した曲を
『音楽の捧げもの』と名付けました。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven (1770-1827)

新しい表現を求め続けたベートーヴェン。
改良されたフォルテピアノの音域を
最大限使って作られた曲が
「ピアノソナタ」全32曲に多く含まれています。



フレデリック・ショパン

Frédéric Chopin (1810-1849)

恋人と聞いた雨音、
死の淵をさまよう中で聞いた雨音を
繊細に歌い上げた『雨だれのプレリュード』。
ピアノが、感情を表現できる構造に
改良されていなければ、
この名曲も生まれていなかったかもしれません。

ルネサンス期



5.5オクターブ。特に大型のクラヴィコード。脚がなく直接テーブルに置くタイプもある。(写真提供:浜松市楽器博物館)

3~5オクターブの音域、
繊細な音色。
ピアノの仕組みに
かなり近づいた
クラヴィコード

1600年頃

バロック期

形はピアノにそっくり。
音量が豊かになり、
雅やかな音色を
響かせるチェンバロ



A.&J.カーマン製のチェンバロ(スウェル付き)(写真提供:浜松市楽器博物館)

1750年頃

古典期

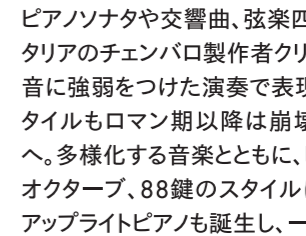


フォルテ(強音)も
ピアノ(弱音)も
表現できる
現在のピアノの原型
フォルテピアノ

フォルテピアノは「グラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ」とも呼ばれる。写真は復元楽器(写真提供:浜松市楽器博物館)

1820年頃

ロマン期



1900年にアップライトピアノ製造を開始。写真は当時作られたアップライトピアノ(写真提供:ヤマハ株式会社)

88鍵でオーケストラの
ほぼ全音域をカバーできる
鍵盤楽器の王様に進化した
モダンピアノ

1875年頃

近・現代期

現在

JAZZピアノ

2024.3/3(日)
大江千里 ひな祭り ジャズ・ライブ

ここを楽しみたい!

- 40年の音楽活動に裏付けされた確かなパフォーマンス
- 日本の美しい童謡を大江流にアレンジ。ジャズを家族で楽しもう!

Senri Oe

大江千里



ポップからジャズへ音楽に、REALに生きている。
47歳で渡米し、現在ニューヨークを拠点にジャズクラブなどで活動。今回は大江流にアレンジした日本の童謡やオリジナルのジャズ曲をソロピアノで演奏。歌はなくとも歌詞をつけて歌いたくなる、ダイナミックで美しいメロディが持ち味の「千里ジャズ」の世界をお楽しみください。



本場ニューヨークで基礎からジャズを学びポップスからジャズピアニストへの変貌をとげた大江千里に注目。

新時代のピアノ

2024.1/21(日)
H ZETT M×
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
「新しいチカラ」

ここを楽しみたい!

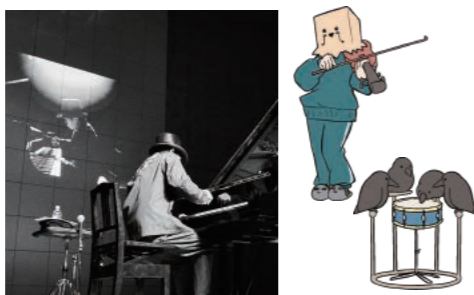
- ジャンルを超えアイデアと遊び心に溢れる作品
- 神奈川フィルハーモニー管弦楽団とのステージ

エイチ・ゼット・エム

H ZETT M



身体ひとつでピアノの可能性を最大限引き出す。
音楽の無限の深さや広がりを感じ取り、超絶技巧と「無重力奏法」を武器に唯一無二のクロスオーバーな音楽を生み出しています。今回の公演では、高校時代に作曲したという管弦楽曲を取り入れる構想も。変幻自在な表現と神奈川フィルとの化学反応に目が離せません。



H ZETT Mの楽曲をこの日のためにオーケストラアレンジ。オリジナルキャラクターも登場!

オーケストラとピアノ

2024.1/12(金)
静岡ガスPRESENTS グランシップ&静響
ニューイヤーコンサート
[ピアノ:高木竜馬]

ここを楽しみたい!

- グリーク国際ピアノコンクール優勝者が奏でるグリークのピアノコンチェルト
- 名匠率いる富士山静岡交響楽団と生み出すハーモニー

Ryoma Takagi

高木竜馬



7つの国際コンクールで優勝多彩な表現で感動を生む若手ピアニスト。
卓越した技術と豊かな感性からなる演奏が国内外で高く評価されています。特に作曲家の心情を映し出す繊細な表現が秀逸。コンチェルトでは、オーケストラとのハーモニーはもちろん、持ち味を生かしたカデンツァ(即興的独奏)にもご注目を。



ニューイヤーコンサートとしては初となるピアノのソリストとして登場。新年に世界レベルの演奏を。

ピアノ・リサイタル

10/23(月) アレクサンダー・ガジェヴ ピアノ・リサイタル
11/29(水) 小林愛実 ピアノ・リサイタル

ここを楽しみたい!

- 最高峰の舞台上で上位入賞した2人の演奏
- 世界が注目するピアニストがグランシップ初登場
- ピアノの音にじっくり向き合い世界観に浸る

Aimi Kobayashi

小林愛実



第18回シヨパン国際ピアノ・コンクール第4位。
理想の音色を追い求め、一音一音、思いを込めた音色を響かせます。シヨパンコンクールでは、歌心に満ちあふれる美しい音色と強靱な集中力からなる演奏が多くの人々の心を打ちました。今後、ますます世界での活躍が期待されるピアニストです。



ピアノと一体化した情熱的な演奏は、シンプルなソロ・リサイタルで体感するのがいちばん。

Alexander Gadjev

アレクサンダー・ガジェヴ



第18回シヨパン国際ピアノ・コンクール第2位。
シヨパンコンクール以前から注目を集め、20歳で浜松国際ピアノコンクールで優勝と聴衆賞を受賞。「音楽を「物語る」天性によって聴き手を陶醉させる」と称賛されました。楽曲に対する深い分析力と即興本能によって生まれる独創的な演奏が魅力のひとつ。



2015年以降出場した殆どのコンクールで優勝。シヨパンコンクールではソナタ最優秀演奏賞も受賞。

クラシックも
ジャズも

今、ピアノとピアニストは ジャンルを超えて楽しみたい

演奏の仕方でも音色が変わるピアノ。同じピアノを同じ環境で弾いても、奏でる人によってまったく違う世界が広がります。特に、ホールで聴く音色は格別。ジャンルに捉われず、無限に広がるピアノの世界を楽しんでみませんか。

チェロの深く美しい音色によって、孤独なスパイが心を取り戻す音楽小説『ラプカは静かに弓を持つ』。2023年本屋大賞第2位をはじめとする各賞を受賞し、今年の第69回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書にも選出され、幅広い年代を魅了し続けています。物語を紡いだ背景や音楽観、10月に開催されるトークイベントへの思いを、小説家・安壇美緒さんに尋ねました。



非日常を得られるという点で 小説と音楽は近しいのかもしれませんが。

安壇 美緒

記録的な猛暑を観測した七月。鮮やかなブルーのワンピースで安壇さんが現れると、その場が一瞬にして涼やかな雰囲気になりました。『ラプカ：』が発刊されてから、深海をイメージする青いモノに手が伸びてしまうとか。そこから早速小説のお話へと広がりました。

—スパイを主人公にした音楽小説という斬新な題材で、実際に起きた事件という点でも興味を惹かれました。

ニユースで事件のことを知っていたので、現代性があって題材として面白そうだなと思いました。ただ、音楽や著作権のことを全く知らなかったのでゼロからのスタートになりましたが、スパイ調で書くという点では、感情の波や機微で物語を展開する心理劇を得意としているところがあって、書いて書けるかなという感覚は最初からありました。

—主人公は過去にチェロを習っていたという設定でしたが、様々な楽器がある中で、なぜチェロを選びましたか？

もともと、チェロは響きが良くながら書いていたんですよ。

—この曲を選ばれたことが素晴らしいですね。横坂さんの普段のリサイクルでは演奏されないと聞いて、とてもレアなプログラムだと思っています。

もともと歌曲として作られた曲でチェロ曲ではないのに、チェロで弾くとすごく素敵になる。まるでチェロのために作られたかのようには聴こえてくるんです。

—当日が待ち遠しいですね。最後に、このマガジンを愛読されている皆さまにメッセージをお願いします。

小説と音楽は違うジャンルではありますがありますが、非日常を得られるという点では、近しいのかもしれませんが。皆さんにとって、普段の行動範囲とは違う何かを得られる日になれば嬉しいですね。会場でお待ちしています。

く、独特の大きさだなどという印象はあったものの、特別な知識はありませんでした。結果的にチェロを選んだことで物語に深みが増したので、良い楽器を選べたと思っています。

—J.S.バッハの「無伴奏チェロ組曲」が、主人公の好きな曲として登場しましたね。

クラシックに詳しくはないのですが、バッハが一番好きな作曲家でした。チェロについて調べている時に、その代表的な曲である『無伴奏チェロ組曲』が、バッハの曲だというので聴いてみたら、すごく良くて。チェロの歴史の中でも、他の曲とは位置付けが違うことも感じられたので、この物語が目指すところに何かしら絡ませたいという思いがありましたね。

—作中に「音楽は人を救う」という言葉が出てきましたが、ご自身の体験によるものですか？

すぐに思い浮かぶエピソードはなくて…。どちらかというと、「そうだったら良いな」と思って書いたような気がします。自分は本を一冊書き上げることで気持ちが変わっているところがあるの

で、私にとつての文芸と、登場人物たちにとつての音楽が近いのかもしれないと考えて、そこに寄せた感覚がありますね。

—チェロの美しい音色によって、孤独なスパイが変わっていく様子に、音楽の力を感じました。

プロでなくても音楽を楽しめる、そして、楽しむ余裕がある世界になったらいなという思いはありました。音大やプロの演奏家を目指してはなくても、「この曲が弾けた」というだけで人生が楽しくなりますよね。プロであるとか、アマチュアであることは関係なく、演奏に取り組む姿勢が素敵だと思える世の中であってほしいなと。特に意識して書いてわけではないですけど、気持ちが出ていたかもしれませんね。

—本屋大賞第2位や大藪春彦賞、未来屋小説大賞を受賞されて、どのような反響がありましたか？

小さなことですが、「安壇美緒」で検索して、いろいろアップされていたことが衝撃で。プライベートで行く本屋さんにも自分の小説が平積みで置いてあるという驚き（笑）。嬉しさよりも先に、驚きや衝撃を感じましたね。

—賞と言えば、静岡県立天竜高校の皆さんが同世代に薦めた

い文学作品を選ぶ第14回「天竜文学賞」に、前作の『金木犀とメテオラ』が選ばれ、昨年12月、天竜高校春野校舎で授賞式が行われたそうです。

はい。参加させていただきました。生徒さんたちとお話をしている中で、「小説家に漫画のことを聞いたらいけない」と思っていたり、意外なお話が聞けてとても楽しかったです。

私の高校時代は、同年代の子よりは本を読んでいたと思います。小説家を意識して本を読み始めたのは大学の頃ですね。ただ、高校の演劇部で台本を創り上げた経験は大きかったですね。

—10月には「本と音楽の素敵な出会い」が開催されます。コンサートホールでのトークイベントは初めてだと聞きました。

そうですね。だから、演奏をとても楽しみにしています。私が



好きな曲を弾いてくださるコーナーもあると聞いています。一生に一度の経験になるかもしれません。

—共演される横坂源さんは、浜松市在住の国際的なチェリストです。オフアートをしたら、「すごくわくわくしている」と仰っていました。横坂さんにどんなことを聞いてみたいですか？

ピアノやヴァイオリンではなく、チェロを選んだいきさつや、チェロのどういうところが好きかを聞いてみたいです。チェリストとして世界のステージで活躍することはとても大変なことだと思えますが、それができる方はどれほどのメンタルか。また、国際レベルの方は、小さな頃から弾いていると思いますが、何歳の、どのようなタイミングで、「プロのチェリストとして」やっていく」と確信できたのかに、かなり興味があります。

—どんな対談になるか楽しみですね。演奏会では、小説に登場した曲をはじめとする様々な曲が演奏される予定です。

ブラームスの『5つの歌曲』は、この本を書くにあたって聴いたコンピレーションアルバムに収録されていた曲で、とても気に入ったので物語に登場させました。そのシーンでは、この曲をずっと聴き

Mio Adan

安壇 美緒 作家

1986年北海道生まれ。早稲田大学第二文学部卒業。2017年『天龍院亜希子の日記』で第30回小説すばる新人賞を受賞し、デビュー。著書に、北海道の女子校を舞台に思春期の焦燥と成長を描いた『金木犀とメテオラ』がある。2022年『ラプカは静かに弓を持つ』で第6回未来屋小説大賞、2023年同作で第25回大藪春彦賞受賞、第20回本屋大賞第2位となる。今後取り組んでみたい題材のひとつが「育児」。社会問題の側面に注目している。

本と音楽の素敵な出会い 『ラプカは静かに弓を持つ』

10/15(日) 14:00~

- 中ホール・大地
- 一般3,800円、子ども・学生1,000円



vol.35 歌舞伎の危機？

です。今でも、当時の名歌手たちの至芸や偉大な指揮者たちの身ぶり、豪華な衣装や舞台装置などを細かく記憶はしていますが、しかし、このあいだ還暦を過ぎて東京

救われざる運命を背負った人間が、ある運命的な出来事にめぐり合うことで苛酷な試練を受け、みずから犠牲の死を選ぶことにより、その魂は救われ神仏に近づくと云う受難劇なのです。

しかし少年の頃より劇場へ通い、明治大正生れの御年寄たちと隣り合って浄瑠璃かぶきに馴れ親しんだ私などは、観客が泣かなくなった現在の現象にこそ、危機の本当の理由があるように感じられてならないのです。

新国立劇場に『ラ・ボエーム』が掛かると聞き、歌手も好きそうなので、二十五年ぶりにオペラの客となったところ、泣けて泣けて仕方がありませんでした。

舞伎の観客は泣かなくなりました。ところが、劇中の何でもないところで意味なく笑いたがるのは迷惑ですが、おそらくテレビの見過ぎで変な癖が付いているのでしょう。

さて最近、ある事件をきっかけに、歌舞伎の危機が取り沙汰されています。

伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。 岩下尚史

新国立劇場に『ラ・ボエーム』が掛かると聞き、歌手も好きそうなので、二十五年ぶりにオペラの客となったところ、泣けて泣けて仕方がありませんでした。

舞伎の観客は泣かなくなりました。ところが、劇中の何でもないところで意味なく笑いたがるのは迷惑ですが、おそらくテレビの見過ぎで変な癖が付いているのでしょう。

さて最近、ある事件をきっかけに、歌舞伎の危機が取り沙汰されています。



静岡ガスPRESENTS
グランシップ&静響
ニューイヤークンサート vol.22
名匠と気鋭ピアニストが紡ぐ情熱のコンチエルト
新春を寿ぐ名曲とともに

「新しい年はこのコンサートで始まる」と言う方もいるほど、多くの方に親しまれているニューイヤークンサート。豪華ゲストと華やかなプログラムで人気のこのコンサートは、地域の暮らしを支える静岡ガス、静岡県を代表するオーケストラ・富士山静岡交響楽団、静岡県の文化芸術を支えるグランシップの三者が、新年の始まりに地域の皆様と音楽の喜びを分かち合い、希望に満ちた一年となることを願い開催し、今年で22回目を迎えます。

タクトを振るのは高関健さん。若き日に海外でカラヤン、バーンスタイン、小澤征爾の薫陶を受け、国内外のオーケストラや、ピアニストのマルタ・アルゲリッチをはじめとする優れたソリストからの信頼も厚い日本を代表する指揮者の一人です。

高関さんは、同楽団の前身である静岡交響楽団時代からミュージックアドバイザーを務め、2021年に富士山静岡交響楽団としての活動がスタートした際に首席指揮者に就任。以降、演奏会や練習を重ねる中で絆が深まった楽員とともに静岡の音楽文化の発展に力を尽くしています。

また、今回はピアニストの高木竜馬さんが登場。第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールで優勝した高木さんが、グリーグの名曲「ピアノ協奏曲イ短調」を演奏します。若くして海外のコンクールで優勝を重ね、これからの活躍が期待される高木さんのドラマチックな演奏にも注目です。

新たな一年の始まりに、名匠と静岡のオーケストラ、気鋭のピアニストが創り上げる祝祭感に満ちた時間をどうぞ一緒に。

2024年1/12(金) ■昼の部/14:00開演 夜の部/18:30開演 ■中ホール・大地 ■2,000円 ※事前申込制、座席は抽選による配席。当選通知後、記載の期日までに支払、チケット受取。

〈出演〉指揮:高関 健、ピアノ:高木 竜馬、管弦楽:富士山静岡交響楽団
〈曲目〉♪グリーグ/ピアノ協奏曲イ短調 op.16
♪J.シュトラウス2世/ワルツ「春の声」op.410、ワルツ「美しく青きドナウ」op.314 他 ※曲目は変更になる場合がございます。

申込方法 ■申込締切 2023年10月31日(火) 必着 応募者多数の場合は抽選

〈WEBからの申込〉 グランシップホームページの専用申込フォームに必要事項を入力してください。

●チケット受取方法は以下3つの方法からお選びください。

- A. グランシップチケットセンター(10:00~18:30/休館日を除く)
- B. ファミリーマート
- C. 郵便振替後に郵送(手数料、送料が別途かかります)

〈官製はがきによる申込〉 右記参照

※重複応募、記入もれ等不備は無効。※抽選結果は、11月下旬にはがきまたはメールにて連絡。※期日までに、手続きが完了されないチケットなどが発生した場合、一般販売を行います。一般販売の告知は、12月上旬にグランシップホームページに掲載予定です。

最新情報・WEB申込はこちら

63円 ¥422-8019 静岡市駿河区東静岡 二丁目3番1号

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥希望公演(昼・夜いずれか) ⑦申込人数(4名まで、小学生以上) ⑧チケットの受取方法 A~Cから1つ選択

TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。



岩下尚史(いわしたひさふみ)作家、國學院大学客員教授、新橋演舞場(株)退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞を受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊『美しいキモノ』(ハースト婦人画報社)、「北國新聞」にてエッセイを連載中。また、現在、新刊発表に向け、鋭意執筆中。



グランシップイベントカレンダー



グランシップホームページ
イベントカレンダーTOPへ

2023年9月の情報です。内容等変更となる場合があります。グランシップ企画事業の公演・イベントへご来場の際には、必ずグランシップホームページで最新情報をご確認ください。
なお、貸館催事につきましては、それぞれの主催者にお問い合わせください。

11/8[水]・9[木] 展示

ファラドール(花もめん) ウインターコレクション

- 6階展示ギャラリー3
- 8日10:30～17:00 9日10:00～16:00

(株)原匠 tel.0120-771-908

11/8[水]～12[日] 展示

第71回静岡県高等学校美術・工芸展

- 6階展示ギャラリー1
- 10:00～18:00(最終日は15:00まで)

静岡県高等学校文化連盟美術・工芸専門部
tel.054-245-0567(静岡高校:宮地)

11/9[木] その他

第57回全国わさび生産者大会 静岡大会及び 第38回全国わさび品評会

- 6階交流ホール ■9:00～18:00

全国わさび生産者協議会
tel.0558-85-2511

11/10[金]～12[日] 展示

キャプテンサンタ静岡フェアー

- 6階展示ギャラリー3
- 10日14:00～19:00 11日10:00～19:00 12日10:00～17:00

(有)シスターズ tel.0266-58-9770

11/10[金]～12[日] その他

ノジマトリーグ2023-2024

- 中ホール・大地
- 10日18:30～ 11日15:00～ 12日11:00～

■入場料は9月以降トリーグHP掲載予定
静岡オクスズUU(株) tel.080-6945-9779

11/11[土]～13[月] その他

日本放射線安全管理学会 第22回学術大会

Satellite Meeting of the 7th International Symposium on the System of Radiological Protection (ICRP 2023)

- 会議ホール・風 他
- 11日13:30～17:30 12日9:00～17:30 13日9:00～12:30

■参加登録費:事前登録 正会員6,000円 非会員7,000円 学生無料
当日登録:正会員7,000円 非会員8,000円 学生無料

日本放射線安全管理学会
第22回学術大会実行委員会事務局
tel.054-238-4804

10/23[月] グランシップ企画事業 本誌P6の詳細をチェック! 音楽

グランシップ リサイタル・シリーズ アレクサンダー・ガジェヴ ピアノ・リサイタル

- 中ホール・大地 ■19:00～ ■一般4,200円 こども・学生1,000円

2021年、反田恭平とともに第18回ショパン国際ピアノ・コンクール第2位、最優秀ソナタ賞を受賞したピアニストが贈る、心揺さぶられるプログラム。

〈曲目〉J.S.バッハ:フランス組曲第4番 変ホ長調 BWV815
ショパン:ノクターン Op.15-1&2
ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」 他

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



10/29[日] 音楽

ザ・スイングハードオーケストラ リサイタル

- 中ホール・大地 ■17:30～ ■1,000円

(株)音楽舎 tel.054-265-2930

11/2[木]～5[日] 展示

第71回静岡県高等学校美術・工芸展 中部展

- 6階展示ギャラリー1・2
- 10:00～18:00(最終日は15:00まで)

静岡県高等学校文化連盟美術・工芸専門部中部支部
tel.054-334-0431(清水南高校:柏原)

11/4[土] 音楽

静岡県高等学校総合文化祭 「器楽・管弦楽」専門 第27回演奏会

- 中ホール・大地 ■10:00～16:00

静岡県高等学校文化連盟
「器楽・管弦楽」専門部
tel.054-334-0431

11/4[土]・5[日] 講演会

全国子育てひろば 実践交流セミナー in 静岡

- 11階会議ホール・風
- 4日13:00～17:30 5日9:00～12:30

子育てひろば全国連絡協議会
tel.045-531-2888

11/5[日] 音楽

ふじのくに芸術祭2023 邦楽演奏会

- 中ホール・大地 ■13:00～

静岡県文化政策課/静岡県文化協会
tel.054-221-3109

10/24[火] イベント

新技術交流イベント in Shizuoka 2023

- 大ホール・海 ■10:00～16:00

静岡県交通基盤部 建設経済局 技術調査課(建設技術監理センター) tel.054-268-5004

10/25[水] 講演会

「静岡水わさびの伝統栽培」世界農業遺産認定5周年記念事業

- 6階交流ホール ■13:30～16:30

静岡わさび農業遺産推進協議会(事務局:静岡県農芸振興課)
tel.054-221-3299

10/28[土]・29[日] その他

日本産業看護学会第12回学術集会

- 6階交流ホール
- 28日13:00～17:10 29日9:00～16:30

■会員8,000円 非会員9,000円
日本産業看護学会第12回学術集会
jaohn12@u-shizuoka-ken.ac.jp

10/29[日] 講演会

「東京都交響楽団名曲コンサート」事前レクチャー ベートーヴェン 「運命」に迫る! ～苦悩から歓喜へ～

- 2階映像ホール ■14:00～
- 一般1,000円 こども・学生500円

ベートーヴェン研究の第一人者・平野昭さんのわかりやすい解説で「運命」を様々な視点から読み解きます。
〈講師〉平野 昭(静岡文化芸術大学名誉教授)

10/22[日] 講演会

リハビリ・健康セミナー

- 大ホール・海 ■14:00～17:00(予定)

静岡新聞社・静岡放送 企画推進部
tel.054-284-9236



過去の講演会の様子

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

10/8[日] グランシップ企画事業 舞台

人形浄瑠璃 文楽

- 中ホール・大地
- 昼の部13:00～ 夜の部17:30～
- 昼の部/1階席3,800円 夜の部/1階席3,300円
- こども・学生1,000円 昼夜通し券6,400円 2階席2,000円

「人形浄瑠璃 文楽」を、県内で鑑賞できる唯一の機会。文楽三大名作の一つで哀感あふれる「義経千本桜」、運命に翻弄される男女の切ない物語「桂川連理柵」を上演。

〈演目〉昼の部「義経千本桜」～椎の木の段～すしやの段
夜の部「桂川連理柵」～六角堂の段～帯屋の段～道行籠の桂川

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000




写真 青木信二

10/8[日] イベント

SHIZUOKA ダンスコレクション in 2023

- 大ホール・海 ■11:00～17:00

静岡県ダンススポーツ連盟 tel.090-9023-6935(水野)

10/15[日] グランシップ企画事業 本誌P8-9のインタビューをチェック! 音楽

本と音楽の素敵な出会い 『ラブカは静かに弓を持つ』

- 中ホール・大地 ■14:00～
- 一般3,800円 こども・学生1,000円

2023年本屋大賞第2位となった話題の「スパイク音楽小説」をテーマに、小説家と音楽家のトークと演奏で物語の魅力に迫ります。作中に登場する曲の演奏もお楽しみに!

ピアノ:沼沢淑音 ナビゲーター:浦久俊彦

〈曲目〉J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第1番ト長調 BWV1007より プレリユード
J.ブラームス:5つの歌曲Op.105より 第1番「歌の調べのように」 他

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



安壇美緒(小説家) 横坂 源(チェリスト)

10/21[土] イベント

2023 ロボットアイデア甲子園 静岡県 中・東部大会

- 11階会議ホール・風
- 13:00～16:30

三明機工株式会社 tel.054-366-0089

10/22[日] 講演会

音楽と絵本でつながる ミーティング in 静岡

- 2階映像ホール ■13:00～15:30

絵本図書館ネットワーク事務局
tel.050-3557-9601

10/1[日] 進学

第19回 静岡県中部私学展(中学・高校)

- 大ホール・海 ■10:00～15:00

静岡県私学協会(幹事校:清水国際高校)
tel.054-254-8208

10/1[日] 講演会

坂本達さんトークイベント 「100万回のありがとう ～自転車に夢をのせて～」

- 10階1001-2会議室
- 14:00～16:00(受付13:30～)

■大人700円 高校生300円 中学生以下無料
ふじのくに夢の架け橋実行委員会 bdec.fujinokuni@gmail.com

10/5[木] 就職

若年者のための 地元就職フェア in しずおか

- 大ホール・海 ■12:00～16:00

静岡新卒者等人材確保推進本部(静岡労働局・ハローワーク・静岡県等)
tel.0120-034-036(受託企業:(株)東海道シグマ)

10/6[金] 音楽

ウィーンの木管五重奏団

- 中ホール・大地 ■18:30～
- 一般3,000円 こども・学生1,000円

ウィーン・フィルなど、ウィーン屈指の管弦楽団で活躍する音楽仲間5人による息の合ったアンサンブル。静岡の中高校生との共演も。

〈曲目〉
J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇「こもり」序曲
W.A.モーツァルト:「フィガロの結婚」序曲
J.ブラームス:ハンガリー舞曲第6番 他

10/19[木] 講演会

令和5年度 高齢社員活躍の「コツ」セミナー

- 9階会議室910 ■13:30～16:00

■無料 ※経営者、人事、総務担当者対象(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 静岡支部 tel.054-280-3622



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

10/7[土] 音楽

レコードコンサート AT グランシップ

- 2階映像ホール ■13:30～

前田 幹夫 record.cd.concert@gmail.com

12/19[火]・20[水] イベント
第20回お米日本一コンテスト in しずおか
 ■6階交流ホール
 ■19日11:00～18:00
 20日10:00～16:00
 お米日本一コンテスト in しずおか実行委員会
 tel.054-221-1351

12/20[水]・21[木] 舞台
『WAになって踊ろう』
 ～富士山のTEPPENまで届け!!
 舞舞DANCE～
 ■中ホール・大地 他
 ■20日18:30～20:00
 21日18:00～20:30
 ■3,000円
 『WAになって踊ろう』実行委員会
 tel.0545-61-7491(服部)

12/22[金] 音楽
三校合同クリスマスコンサート
 ■中ホール・大地 ■18:00～
 静岡市立高等学校マンドリン部
 tel.054-245-0417

12/24[日] 舞台
**静岡県高等学校文化連盟
 軽音楽専門部
 第8回静岡県高等学校
 軽音楽新人大会**
 ■中ホール・大地 ■10:00～17:00
 静岡県高等学校文化連盟軽音楽専門部
 tel.053-471-5336

12/26[火] 音楽
**ウインターコンサート2023
 (高校吹奏楽部合同コンサート)**
 ■中ホール・大地 ■17:00～
 ■前売300円 当日400円
 静岡東高校吹奏楽部(中本)
 tel.054-261-6636

12/27[水] 音楽
**常葉大学吹奏楽団
 ウインド・サウンズ・アンサンブル
 第42回定期演奏会**
 ■中ホール・大地
 ■前売500円 当日600円
 常葉大学吹奏楽団
 ウインド・サウンズ・アンサンブル
 21331104g@sz.tokoha-u.ac.jp

12/14[木]～18[月] 展示
第32回愛護ギャラリー展
 ■6階展示ギャラリー
 ■14日15:00～17:00
 15日～17日9:00～17:00
 18日9:00～12:00
 静岡県知的障害者福祉協会
 tel.054-254-6341

12/9[土]・10[日] 展示
シンクビー!サーカス!
 ■6階展示ギャラリー
 ■9日9:30～17:00(予定)
 10日9:30～16:00(予定)
 (株)はちや tel.0120-898-554

12/15[金] グランシップ企画事業

**グランシップ プレミアム・クリスマス・ライブ
 平原綾香 20th Anniversary Concert Tour 2023
 ～Walking with A-ya～**

■中ホール・大地 ■18:30～
 ■一般7,500円 こども・学生1,000円

2003年のデビュー以来、圧倒的な歌唱力で人々を魅了し、ミュージカルや声優など様々なジャンルに挑戦し続けてきた平原綾香。20年の音楽の軌跡をお届けします。



グランシップチケットセンター
 tel.054-289-9000

12/17[日] グランシップ企画事業

**グランシップ 冬のおくりもの2023
 キノ・イグルーの不思議の国のえいがかん**

■大ホール・海 ■10:30～
 ■えいが券500円

ライブペインティングパフォーマー・近藤康平による演出で、一日だけのスペシャルな「えいがかん」が登場。特別な空間で、キノ・イグルーがセレクトした映画を家族で一緒に楽しもう!



グランシップチケットセンター
 tel.054-289-9000

12/17[日] グランシップ企画事業

**グランシップ 冬のおくりもの2023
 こどもたちのための静岡フィルクリスマスコンサート**

■大ホール・海 ■14:30～
 ■一般1,000円 こども・学生500円
 ※未就学児無料

静岡フィルハーモニー管弦楽団が贈る、家族で楽しめるコンサート。ファンタジックでクリスマスにぴったりの名曲をお届けします。

〈出演〉指揮:松村詩史
 管弦楽:静岡フィルハーモニー管弦楽団

グランシップチケットセンター
 tel.054-289-9000



11/12[日] グランシップ企画事業

【グランシップ出前公演(三島市)】2023年しずおか連詩の会 in 三島

■三島市民文化会館 小ホール ■14:00～ ■1,000円 5人のことばの表現者が、完成したばかりの40編の創作現代詩を自ら朗読、解説します。



野村喜和夫(詩人) 田原(詩人) 岡野大嗣(歌人) 文月悠光(詩人) 小野絵里華(詩人)

グランシップ
 チケットセンター
 tel.054-289-9000

11/23[木・祝] イベント

東アジア文化都市2023静岡県記念
 ヒガナンフェスティバル
「あつまれ!学びと文化のまちに」
 ■大ホール・海 他 ■10:30～16:00(予定)
 静岡県スポーツ・文化観光部 政策管理局 企画政策課
 tel.054-221-3612

11/25[土]～12/3[日] 展示

ふじのくに芸術祭2023
(第63回静岡県芸術祭)
 ■6階展示ギャラリー
 ■10:00～17:00(最終日は14:00まで)
 静岡県文化政策課/静岡県文化協会
 tel.054-221-3109

11/25[土] 講演会

農村サステナブルフォーラム
 ■11階会議ホール・風 ■12:30～
 ふじのくに美しく品格のある吊づり連合 tel.054-221-2713

11/26[日] イベント

あいのうた短歌コンテスト
10周年記念事業(仮)
 ■11階会議ホール・風 ■午後(予定)
 静岡県健康福祉部こども未来局こども未来課
 tel.054-221-3485

11/26[日] 舞台

ふじのくに芸術祭2023舞踊公演
 ■中ホール・大地 ■15:30～
 静岡県文化政策課/静岡県文化協会
 tel.054-221-3109

11/29[水] グランシップ企画事業

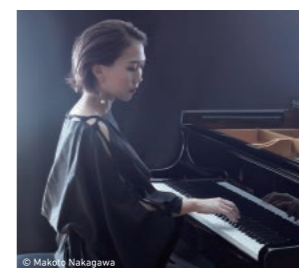
**グランシップ リサイタル・シリーズ
 小林愛実 ピアノ・リサイタル**

■中ホール・大地 ■19:00～ ■一般4,200円 こども・学生1,000円

2021年第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第4位を受賞した小林愛実がグランシップに初登場。さらなる世界的活躍が期待される彼女の繊細かつ情熱的な演奏をお聴き逃しなく。

〈曲目〉ショパン:ポロネーズ第7番 変イ長調「幻想」Op.61
 アンダンテ・スピアナートと華麗なる
 大ポロネーズ Op.22
 シューベルト:即興曲集D935 Op.142 他

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



© Makoto Nakagawa

11/17[金] 展示

令和5年度 福祉機器展 in しずおか
 ■10階会議室 ■10:30～16:00(予定)
 (一社)日本福祉用具供給協会 静岡県ブロック
 tel.054-202-3348

11/18[土] イベント

令和5年度
 静岡県薬物乱用防止県民大会
 ■11階会議ホール・風 ■13:30～16:15
 静岡県健康福祉部生活衛生局薬事課
 tel.054-221-2413

11/19[日] 音楽

ふじのくに芸術祭2023
 合唱コンクール
 ■中ホール・大地 ■10:30～
 静岡県文化政策課/静岡県文化協会 tel.054-221-3109

11/19[日] その他

第58回 S・A・T・Dダンス祭
 ■6階交流ホール ■13:00～16:30
 ■2,000円
 静岡県社交ダンス教師協会
 tel.090-8541-6473

11/23[木・祝] 音楽

第39回日本大衆音楽祭
 ■中ホール・大地 ■9:00～20:00
 静岡県大衆音楽協会 中部支部
 (主催:(特非)日本大衆音楽協会)
 tel.090-3937-6649(秋田)

11/13[月] 講演会

令和5年度
**第30回記念大会
 静岡県図書館大会**
 ■中ホール・大地 他 ■10:25～15:45
 ■無料 ※事前申込制
 静岡県図書館協会事務局
 (静岡県立中央図書館企画振興課内)
 tel.054-262-1246

11/18[土] 音楽

**東京都交響楽団
 名曲コンサート**

■中ホール・大地 ■14:00～
 ■S席7,000円 A席6,000円
 こども・学生1,000円

小泉和裕率いる東京都交響楽団がグランシップに初登場。ベートーヴェン「運命」を日本屈指のオーケストラの演奏で。三浦文彰がストラディヴァリウスで奏でるブルッフの「ヴァイオリン協奏曲第1番」は必聴!

〈曲目〉
 ワーグナー:楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲

ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 短調 Op.26

ベートーヴェン:交響曲第5番 短調 Op.67「運命」



小泉和裕(指揮) 三浦文彰(ヴァイオリン)



東京都交響楽団
 グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

<p>10/14[土]～12/10[日] 10:00～17:00(最終受付16:30) すごい富士山～絵画と写真の共演～ 駿府博物館 高校生以上500円、中学生以下・障害者手帳ご提示で無料 【問】駿府博物館 tel.054-284-3216</p>	<p>開催中～10/22[日] 10:00～17:30 牧野富太郎がみつめた植物 ふじのくに地球環境史ミュージアム 大人300円、大学生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方無料 【問】ふじのくに地球環境史ミュージアム tel.054-260-7111</p>	<p>12/2[土] 13:30～15:00 郷土教室「ワラ細工」 三島市郷土資料館 無料(楽寿園入園料別途) 要申込(11/15まで) 定員12名(応募多数時抽選) 【問】三島市郷土資料館 tel.055-971-8228</p>
<p>10/17[火]～12/10[日] 10:00～17:30(展示室への入室は17:00まで) 大大名(スーパースター)の名宝 一永青文庫×静岡県美の狩野派 静岡県立美術館 一般1,400円、70歳以上700円、大学生以下無料 【問】静岡県立美術館 企画総務課 tel.054-263-5755</p>	<p>開催中～11/19[日] 9:00～16:30 アンダー・ザ・駿府城 静岡市立登呂博物館 一般300円、高大生200円、小中学生50円 市内70歳以上・小中学生(通学含)・未就学児無料 【問】静岡市立登呂博物館 tel.054-285-0476</p>	<p>12/3[日] 14:00～ 富士宮吹奏楽団 第37回定期演奏会 富士宮市民文化会館 500円 【問】富士宮吹奏楽団 fujinomiya-wind@yahoo.co.jp</p>
<p>10/22[日] 13:30～ ミュージコなつかシネマ「ニューヨークの王様」 焼津市大井川文化会館ミュージコ 500円 【問】焼津市大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811</p>	<p>開催中～12/30[土] 10:00～16:45 絵になった猫・展示会 一日本・世界の猫の人形・玩具・絵、大集合一 日本人形博物館・日本招き猫館 大人600円、学生200円、小中学生100円 【問】日本人形博物館・日本招き猫館 tel.054-252-3356</p>	<p>12/13[水]～25[月] 10:00～17:00 御殿場市 東山旧岸邸 2階特別公開 東山旧岸邸 一般300円、小中学生150円 【問】東山旧岸邸 tel.0550-83-0747</p>
<p>10/29[日] 14:00～ 静岡・室内楽フェスティバル2023 ドリブラ・クラシック・コンサート エスパルスドリームプラザ1F エスパルススクエア 無料 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>		<p>12/16[土] 14:00～ 「公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3」参加事業 第5回 めまつガラコンサート ～ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団～ 沼津市民文化センター S席5,000円、A席3,500円、高校生以下(S・A共通)1,500円 ※未就学児入場不可 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>
<p>11/1[水] 18:30～ DRUM TAO 30周年記念新作舞台「THE TAO 夢幻響」 焼津文化会館 S席7,500円、A席6,500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>	<p>10/8[日] 13:30～ たにぞうファミリーコンサート 焼津市大井川文化会館ミュージコ 一般2,000円、小学生以下500円 ※2歳以下座席が必要な場合有料 【問】焼津市大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811</p>	<p>12/24[日] 15:00～ 星陵中学校・高等学校 吹奏楽部 クリスマスコンサート2023 富士宮市民文化会館 500円 【問】星陵中学校・高等学校 吹奏楽部 tel.0544-24-4811</p>
<p>11/4[土] 14:00～ ～Cinema on Strings～ ストリングオーケストラで聴く映画音楽 焼津文化会館 4,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>	<p>10/8[日] 15:00～ アレクサンドル・カントロフ ピアノ・リサイタル 静岡音楽館AOI 一般5,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<h1 style="text-align: center;">中部</h1> <p style="text-align: center;">for Central</p>
<p>11/11[土] 18:00～ 静岡・室内楽フェスティバル2023 AOI・レジデンス・クワルテット&小暮浩史(ギター) 静岡音楽館AOI 一般3,500円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>10/8[日]・9[月・祝] 11:00～、14:00～(各回30分程度) サイエンスショー 「メラメラ燃焼実験! サイエンスファイヤー」 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>	<p>開催中～9/24[日] 9:00～16:30 暮らしにとけこむ型染 一芹沢染紙研究所の仕事一 静岡市立芹沢鈺介美術館 一般420円、高大生260円、小中学生100円 市内在住の70歳以上の方・小中学生(通学含む)・未就学児無料 【問】静岡市立芹沢鈺介美術館 tel.054-282-5522</p>
<p>11/11[土]・12[日] 12:00～16:00(最終入場15:30) サイエンスピクニック 静岡科学館る・くる 同時開催:生物多様性子どもフェア 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>	<p>10/9[月・祝] 14:00～ 第11回 清水にぎわい落語まつり マリナート公演 静岡市清水文化会館マリナート S席6,000円、A席5,000円、B席3,000円 ※未就学児入場不可 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>開催中～10/22[日] 10:00～17:30 知られざる富士山 ふじのくに地球環境史ミュージアム 大人300円、大学生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方無料 【問】ふじのくに地球環境史ミュージアム tel.054-260-7111</p>
<p style="text-align: center;">名曲は色あせない</p> <p>小説「ラプカは静かに弓を持つ」に登場する名曲「カノン」。作られてから300年以上も経つというのに煌めいています。チェロカルテットなど様々なスタイルで聴くと、新たなインスピレーションを与えてくれます。</p>	<p>10/14[土] 15:00～ 静岡・室内楽フェスティバル2023 新生 ジャパン・ギター・カルテット 静岡音楽館AOI 一般4,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>開催中～10/22[日] 10:00～17:30 第6回 ふじミュージアム写真展「山」と生きる ふじのくに地球環境史ミュージアム 大人300円、大学生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方無料 【問】ふじのくに地球環境史ミュージアム tel.054-260-7111</p>

<p>11/4[土] 10:00～12:00、13:00～14:30 郷土教室 「昔のくらし」「楽寿園の自然」 三島市郷土資料館 無料(楽寿園入園料別途) 【問】三島市郷土資料館 tel.055-971-8228</p>	<p style="text-align: center;">没後120年、静岡県ゆかりの文豪</p> <p>熱海サンビーチ前に立つ、貫一お宮の像。「金色夜叉」の名場面を描いたものですが、作者の尾崎紅葉は執筆中、滞在先の修善寺の旅館で亡くなりました。文芸界を彩った「紅葉」に思いを馳せてみませんか。</p>	<h1 style="text-align: center;">しずおかを巡り 地域で見つける 文化芸術の魅力</h1>
<p>11/11[土] 11:00～、13:30～ はらぺこあおむしショー 沼津市民文化センター S席3,000円、A席2,000円 ※2歳以上有料 2歳未満は保護者1名につき膝上限り無料 ただしお席が必要な場合は有料 【問】プレミアムコンサート事務局 10時～17時(土日祝休) tel.053-453-9900</p>	<p>10/7[土]～2024.1/8[月・祝] 9:30～16:30(最終入館16:00) 絵画は語る一上原コレクションのストーリー 上原美術館 近代館 大人1,000円、学生500円、高校生以下無料 (団体10名以上は10%割引) 【問】公益財団法人上原美術館 tel.0558-28-1228</p>	<h2 style="text-align: center;">10月～12月のイベント情報</h2>
<p>11/18[土] 15:00～17:00 沼津市制100周年記念講演会 「牧水 鳥の歌」 講師 伊藤 一彦 先生 沼津市若山牧水記念館 ラウンジ 無料 【問】沼津市若山牧水記念館 tel.055-962-0424</p>	<p>10/8[日] 14:00～ 宮のおんがく会vol.12 ～ピアノと弦楽アンサンブルの魅力～ 富士宮市民文化会館 一般1,000円、高校生以下500円 【問】宮のおんがく会実行委員会 tel.0544-23-1237</p>	<h1 style="text-align: center;">東部</h1> <p style="text-align: center;">for Eastern</p>
<p>11/18[土] 14:00～ 「公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3」参加事業 第14回 プラスの祭典 in 沼津～侍BRASS～ 沼津市民文化センター S席3,000円、A席2,000円、高校生以下1,000円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>10/15[日] 11:00～15:00 第70回沼津牧水祭・碑前祭・芝酒盛 千本浜公園 牧水歌碑前 無料 【問】沼津市若山牧水記念館 tel.055-962-0424</p>	<p>10/1[日] 10:30～16:00 第70回沼津牧水祭 短歌大会 講師 奥田 亡羊 先生 沼津市立図書館 視聴覚ホール 無料、詠草集希望者200円 【問】沼津市若山牧水記念館 tel.055-962-0424</p>
<p>11/23[木・祝] 16:00～ 豪華アーティスト5組による ソロパフォーマンスとセッション 一夜限りの夢の祭典! 「Baton & Session」 出演(50音順):岸田繁(くるり)、笹倉慎介、 曾我部恵一(サニーデイ・サービス)、 高野寛、中村一義 富士宮市民文化会館 4,500円 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237</p>	<p>10/28[土]～12/17[日] 10:00～17:00(最終入館16:30) 日本刀の匠たち 佐野美術館 一般・大学生1,100円、小中高生550円 【問】佐野美術館 tel.055-975-7278</p>	<p>10/7[土] 10:00～12:00、13:00～14:30 郷土教室 「江戸時代の三島宿」「昔のあそび」 三島市郷土資料館 無料(楽寿園入園料別途) 【問】三島市郷土資料館 tel.055-971-8228</p>
<p>11/23[木・祝] 17:00～ 川崎鷹也 弾き語りTOUR 2023 「ぬくもり～旅の途中～」 沼津市民文化センター 一般6,600円、学割4,950円(当日550円増) ※4歳以上はチケット必要 3歳以下は保護者1名につき1名迄むご上無料 ただしお席が必要な場合は学割料金 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>10/28[土]～2024.2/18[日] 企画展「三島宿へようこそ」 三島市郷土資料館 無料(楽寿園入園料別途) 【問】三島市郷土資料館 tel.055-971-8228</p>	
<p style="text-align: center;">みかんの中で対局!?</p> <p>沼津市西浦地区は、昔からみかんの産地。「みかん仙人」という昔話も生まれました。巨大なみかんの中で2人の仙人が碁の勝負をするというユニークな物語。地元の人たちのみかん愛を感じずにはいられません。</p>	<p>10/29[日] 15:00～ <small>ジュー・パンファン</small> 賈鵬芳 二胡アンサンブルコンサート～秋の調べ～ 出演:賈鵬芳(二胡)、美野春樹(ピアノ)、 伊丹雅博(ギター)、石川智(パーカッション) <small>ワン・チェンユー</small> ゲスト:楊肇宇(二胡) 富士宮市民文化会館 3,000円(当日500円増) 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237</p>	<p>10/7[土] 14:00～ 「公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3」参加事業 芝居「沼の中の淑女たち」 沼津市民文化センター S席3,500円、A席2,500円、高校生以下(S・A共通)1,000円 ※未就学児入場不可 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>
	<p>10/7[土]・8[日] 10:00～17:00 富士駒の会 展示販売会 富士宮市民文化会館 無料 【問】富士駒の会 大澤 tel.090-4231-0753</p>	<p>10/7[土] 10:00～17:00 富士駒の会 展示販売会 富士宮市民文化会館 無料 【問】富士駒の会 大澤 tel.090-4231-0753</p>
<p>11/25[土] 14:00～ フォレスタ コンサート in 沼津 ～人生にありがとう～ 沼津市民文化センター 6,600円 ※未就学児入場不可 【問】イーストン tel.055-931-8999</p>	<p>11/3[金・祝] 14:00～ グランプリ・コンサート2023 「カルテット・インダコ」 沼津市民文化センター 一般2,000円、高校生以下1,000円 ※未就学児入場不可 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>10/7[土]～2024.1/8[月・祝] 9:30～16:30(最終入館16:00) 伊豆仏に出逢う 上原美術館の40年 上原美術館 仏教館 大人1,000円、学生500円、高校生以下無料 (団体10名以上は10%割引) 【問】公益財団法人上原美術館 tel.0558-28-1228</p>

GO TO MUSEUM!

静岡県富士山世界遺産センター

よしみ 富士を介して信を通じる

—平川義浩絵葉書コレクションにみる富士山の姿—

明治時代中期から昭和初期にかけて、人々にとって重要な情報伝達手段のひとつであった絵葉書。その中には、様々な形で富士山が登場するものが見られます。本企画展では、日本屈指の絵葉書コレクターである平川義浩氏より御寄贈いただいた富士山絵葉書のコレクション(1,834点)の中から、選りすぐりの逸品をご紹介します。当時の人々が富士山に込めた願いの姿を探ります。

10/7(土)~12/3(日)

絵葉書の中に登場する
様々な富士山の姿を
お楽しみください!



井上卓哉准教授



Japan



ピアノは山葉 山は富士



紀元二千六百年記念 日本万国博覧会



ハルハフウセンニノツテ



大宮町鳥瞰図



漆絵富士山

関連イベント1 公開講座 「絵葉書で愛でる富士山」

〈日時〉10/15(日)14:00~15:00
 〈講師〉平川 義浩氏(日本絵葉書会) 〈定員〉30名
 〈会場〉静岡県富士山世界遺産センター1階研修室
 〈参加費〉無料(要事前申込) ※センター公式HP内の予約システムからお申し込みください。
 〈申込期間〉9/1(金)~10/9(月・祝)

関連イベント2 ギャラリートーク

展示室内で担当研究員が解説を行います。
 〈日時〉10/7(土)・28(土)・11/11(土)・25(土)
 各回14:00~(事前申込不要)
 〈担当研究員〉井上 卓哉准教授

ミュージアム へ行くぞ!

訪れるたびに新しい発見があったり、何度眺めても感動したり。ミュージアムは通えば通うほど面白みが増してきます。豊富なコレクションから研究員の熱意が込められた展示まで、この秋、静岡県を代表するミュージアムに足を運んで知的好奇心を高めてみましょう。

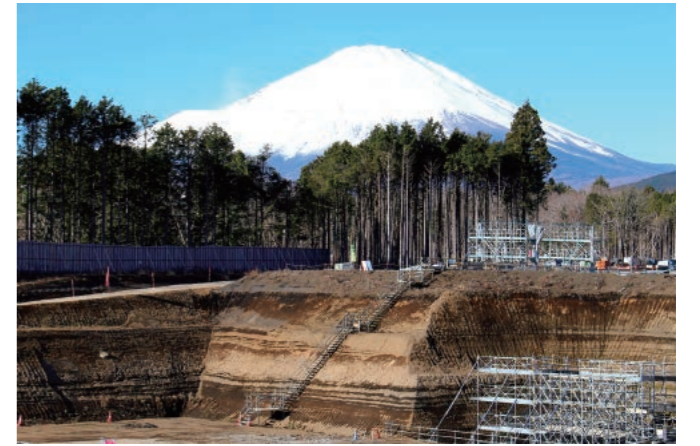
ふじのくに地球環境史ミュージアム

企画展 知られざる富士山

2013年6月22日のユネスコによる世界文化遺産登録から10周年の節目を迎える富士山。その知られざる魅力について富士山の自然史標本を用いて紹介します。

開催中~10/22(日)

会場/ふじのくに地球環境史ミュージアム2階 企画展示室1
 料金/本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。



企画展 牧野富太郎がみつめた植物

—植物標本が語るもの—

日本を代表する植物学者の牧野富太郎博士(1862-1957)。「日本の植物学の父」と称される博士が採集した植物標本や直筆の手紙、原稿などを紹介し、その生涯と業績をたどります。

開催中~10/22(日)

※期間を延長します。

会場/ふじのくに地球環境史ミュージアム2階 企画展示室2、講座室C
 料金/本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。

会期延長するにあたり、採集標本の一部を入れ替えいたします。
 ぜひご来館ください!



安田 謙太郎 企画総務課主査

トピックス展

当ミュージアム研究員による研究成果や新収蔵品の紹介など、速報性・話題性の高いテーマを扱う小規模の短期展示です。トピックス展は約2ヶ月ごとに内容が更新されます。



日本アルプス固有種・ダイモンテントウとその仲間

この夏に実施した南アルプス調査により、謎につつまれていた日本で唯一の高山性のテントウムシ・ダイモンテントウの生態の一部が明らかになりました。その成果と静岡県に生息するテントウムシについて紹介します。

〈展示期間〉10/11(水)~12/3(日)
 〈担当者〉岸本 年郎(ミュージアム研究員)



大井川は数十万年間どこを流れてきたのか?

大井川の周辺の河成段丘や環流旧河谷と呼ばれる地形と地層は数十万~数千年前の大井川が作ったと考えられ、調べることで大地の動きを読み取れます。原子力機構東濃地科学センターとの共同研究の成果を展示します。

〈展示期間〉12/5(火)~2024年2/4(日)
 〈担当者〉塚原 柚子(原子力機構 東濃地科学センター)・中西 利典(ミュージアム研究員)

秋イベント申込み

申込期間:
 9/27(水)~10/6(金)



静岡県富士山世界遺産センター

富士宮市宮町5-12 電話番号/0544-21-3776 開館時間/9:00~17:00(最終入館16:30)(7・8月 9:00~18:00 最終入館17:30)
 休館日/毎月第三火曜日、施設点検日、年末
 観覧料/一般300円、団体(有料観覧者20名以上)200円/人、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等(要証明)無料



HPIはこちらから



ふじのくに地球環境史ミュージアム

静岡市駿河区大谷5762 電話番号/054-260-7111 開館時間/10:00~17:30(最終入館17:00)
 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、年末年始
 観覧料/大人300円、団体(20名以上)200円/人、大学生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。キッズルームと図鑑カフェは無料でご利用いただけます。



HPIはこちらから

SPAC秋→春のシーズン2023-2024 ラインナップ

世界の名作を、現代の演出でお届けするSPACのシーズンプログラム。今年は3つの新作が並びます。



多田淳之介演出『歯車』(2018年)より 撮影:青木司

静岡ゆかりの青春文学を舞台化

#1 新作 伊豆の踊子

台本・演出:多田淳之介 作:川端康成 映像監修:本広克行

孤独から逃れるためひとりで旅する青年。その道中で出会った踊子の少女に惹かれて、垂んでいた心がほぐされていくが、別れの時は近づき…。川端康成の伊豆旅行体験を元にした小説を多田淳之介の演出により舞台化。作中に登場する風光明媚な伊豆地域の撮り下ろし映像を組み込み、新感覚の「観光演劇」としてお届けします。

〈静岡公演〉10/7[土]・29[日]・11/11[土]・12[日]・18[土]・19[日]
各日14:00開演 会場:静岡芸術劇場

◎県内ツアー 〈下田公演〉12/15[金] 会場:下田市民文化会館
〈修善寺公演〉12/23[土] 会場:修善寺総合会館
〈浜北公演〉2024年2/10[土] 会場:浜松市浜北文化センター
〈沼津公演〉2024年2/25[日] 会場:沼津市民文化センター



石神夏希演出『弱法師』(2022年)より 撮影:三浦興一

耽美派の文豪・谷崎潤一郎のこぼれを味わう

#2 新作 お艶の恋

演出:石神夏希 原作:谷崎潤一郎『お艶殺し』

裕福な質屋の一人娘・お艶と、奉公人・新助の駆け落ちの顛末を描いた、谷崎潤一郎の初期小説『お艶殺し』。情熱のままに突き進み、転落し、それでも恋することを止めない主人公たちの生命力あふれる姿を、新鋭・石神夏希と熟練した俳優たちが現代に通じる物語として描き出します。

12/2[土]・9[土]・10[日]
各日14:00開演 会場:静岡芸術劇場

貴族たちのユーモアあふれる恋物語

#3 新作 ばらの騎士

演出:宮城聡・寺内亜矢子 作:フーゴー・フォン・ホーフマンスタール 音楽:根本卓也

リヒャルト・シュトラウス作曲のオペラとして知られるホーフマンスタールの傑作台本を、宮城聡と寺内亜矢子の共同演出と根本卓也による音楽で、明治時代の日本を舞台にした軽快な喜劇に仕立てます。鹿鳴館を彷彿とさせる華やかな洋装が観客の目を楽しませ、恋や駆け引き、心の機微を俳優たちのダイナミックな生演奏が彩ります。

2024年 1/7[日]・8[月・祝]・13[土]・14[日]・20[土]・21[日]・3/10[日]
各日14:00開演 会場:静岡芸術劇場

「ばらの騎士」オープン・クリエーション

SPAC新作の創作過程に立ち会うサロンメンバー募集中!
詳細は特設ページをご覧ください。



◎チケット発売日

『伊豆の踊子』:〈静岡公演〉9/3[日]、〈下田・修善寺公演〉10/14[土]、〈浜北・沼津公演〉12/10[日]
『お艶の恋』『ばらの騎士』共通:10/14[土]

◎チケット料金(全て税込)

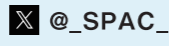
●一般:4,200円
●U25・学生割引:[25歳以下および大学生・専門学校生]2,000円 [高校生以下]1,000円

〈ご予約・お問い合わせ〉SPACチケットセンター [電話] 054-202-3399(10:00~18:00/休業日を除く) [ウェブ] <https://spac.or.jp/ticket>

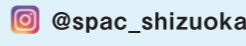
SPACの会個人会員・ゆうゆう個人会員募集中!年間3回公演ご招待ほか、先行予約やチケット割引などの特典がございます。

公演の最新情報は、SPAC公式サイトをご確認ください。 <https://spac.or.jp>

主催:SPAC-静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業



SPACshizuoka



@spac_shizuoka

LINE 公式アカウント

@spac_shizuoka



静岡県舞台芸術公園-積古場棟にて 撮影:牧田奈津美(F4.5)



〈写真左〉

多田淳之介(ただ・じゅんのすけ)

1976年生まれ。演出家。東京デスロック主宰。古典から現代戯曲、ダンス、パフォーマンス作品まで幅広く手がける。創作活動と並行して公共劇場の芸術監督や自治体のアートディレクター、フェスティバルディレクターを歴任。SPACでは2018年に『歯車』(芥川龍之介作)を演出。

〈写真右〉

石神夏希(いしがみ・なつき)

劇作家。1999年よりペニン結核設計を中心に活動。国内外で都市やコミュニティのオルタナティブなふるまいを上演する演劇やアートプロジェクトを手がける。静岡では、静岡市まちは劇場『きょうの演劇』企画・ディレクター(2021年度)、2022年SPAC『弱法師』演出ほか。

『伊豆の踊子』を演出する多田淳之介と、『お艶の恋』を演出する石神夏希にインタビュー

古今東西の名作を現代の演出で上演するSPAC秋→春のシーズンプログラム。開幕を飾るのは、川端康成の青春文学『伊豆の踊子』、つづく2作目は谷崎潤一郎原作の『お艶の恋』と、日本文学の傑作が並び、それぞれの作品を演出する多田淳之介と石神夏希に、作品の魅力、そして創作への意気込みを聞いた。

シオンで、観客の皆さんがその場所に行ったような、行きたくなくなるような体験をしてもらえたら嬉しいです。そして、SPACの高いクリエイティビティを駆使して、『伊豆の踊子』という静岡の財産とも言える作品がこれからは多くの人たちに愛され続けられるよう、現代のお客さんにとっても楽しめる舞台を作りたいと思っています。

— 静岡ゆかりの小説『伊豆の踊子』を、SPACで舞台化するにあたって、意気込みをお聞かせください。
多田 川端康成の初期の作品ですが、すでに短いセンテンスのなかに無限の奥行きを感じさせる才気溢れる文体がほぼ揃っています。これまでに何度も映画化されていますが、焦点がそれぞれ違っていて、これという正解がない。曖昧でいろんな解釈があるところが、若い学生と踊子の物語らしく魅力的な部分だと思います。実際に小説の舞台となった場所にも行ってきましたが、当時と変わらない風景が残っていたり、現在と歴史を同時に感じられる豊かな体験でした。映画監督の本広克行さんが監修する映像とのコラボレ

— 原作の『お艶殺し』の魅力、また中高生鑑賞事業公演もありますが、若い観客を迎えるにあたって意識していることはありますか?
石神 『お艶殺し』は、たとえば電車の中で読み始めたらしめられず、夜更かして読み切ってしまうようなテンポの良さ、語弊を恐れずいえばエンターテインメント性があると思います。もうひとつは主人公の『お艶』に、時代を超えた力がある。お艶が説明なくぶつとんだ行動を繰り返すと



演出家インタビューのロングバージョンは、SPAC公式サイトにて公開しています。





スーパースター

大大名の名宝

永青文庫×静岡県美の狩野派



スーパースター

細川家の御宝が静岡にやってくる！

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

令和5年 **10月17日(火)～12月10日(日)**
前期 10月17日(火)～11月12日(日) 後期 11月14日(火)～12月10日(日)

休館日: 毎週月曜日 開館時間: 10時～17時30分(展示室への入室は17時まで) 観覧料: 一般1,400円(1,200円)、70歳以上700円(600円)、大学生以下無料 主催: 静岡県立美術館
※()内は前売および20名以上の団体料金。 ※収蔵品展、ロダン館もあわせてご覧いただけます。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。
ご観覧にあたり事前予約の必要はありません。 / 前売券は10月16日(月)まで販売
【前売・当日券】チケットぴあ、セブンイレブン(PCODE共通:686-561)、ローソンチケット、ミニストップ(LECODE共通:42765)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館
【前売券のみ】大和文庫、戸田書店(江尻台店)、谷島屋(リッシュ店・マークイズ静岡店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR車庫駅一部店舗



東アジア文化都市 2023 静岡県
Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA
県主催事業

狩野派400年の歴史を名品によって迎える 永青文庫×静岡県美の狩野派 『大大名の名宝』の魅力。

大大名・細川家の狩野派コレクションが30点、静岡県立美術館で見られます。
それだけではない、狩野派の魅力を堪能できる本企画展ならではの見どころは？

全国有数の狩野派コレクションを誇る静岡県立美術館。今回は、肥後熊本五十四万石を治めた大大名・細川家の名宝とのコラボレーションにより、狩野派の世界を、ご紹介いたします。
細川家伝来の美術工芸品や歴史資料などを今に伝える永青文庫は、東京で唯一の大名家の美術館です。その所蔵品には、狩野派の傑作や重要作が多く含まれています。本展では、永青文庫の狩野派の全容を調査して優品を選び、静岡県立美術館の狩野派作品を組み合わせたことで、室町時代から幕末まで、狩野派四百年の歴史を辿ります。
江戸時代の画壇の頂点にあった狩野派は細川家ともゆかりが深く、大名家ならではの狩野派作品に出会う絶好の機会です。重要文化財を含む名品とともに、最新の研究成果を反映して、知られざる永青文庫の狩野派コレクションにも光を当てる、かつてない試み。会場で、ぜひ狩野派の魅力を、堪能ください。

〈第1章〉室町・桃山の美— 元信、山楽を中心に



狩野元信「細川澄元像」永青文庫蔵(重要文化財)



狩野養信「胡蝶船遊之図」永青文庫蔵



狩野宗眼重信「帝鑑図・咸陽宮図屏風」より右隻 静岡県立美術館蔵

〈第2章〉江戸の華— 木挽町狩野家と 鍛冶橋狩野家



狩野宗信「楼閣山水図屏風」静岡県立美術館蔵



狩野養長「山水図」永青文庫蔵



狩野探信守政「夏秋花鳥図屏風」より右隻 静岡県立美術館蔵

〈第3章〉大名家と江戸狩野派



狩野探信守政・探雪「絵鑑」より 永青文庫蔵



狩野宗信「桐松鳳凰図屏風」より右隻 静岡県立美術館蔵

〈第4章〉肥後狩野派の展開

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
企画総務課Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767
学芸課Tel.054-263-5857 Fax.054-263-5742
ウェブサイト…<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>
静岡県立美術館 検索

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

東アジア文化都市 2023 静岡県
Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

グランシップ企画事業10月～12月のチケット発売・申込受付開始情報

2023年9月の情報です。内容等変更となる場合があります。チケット購入、公演・イベントへご来場の際には、必ずグランシップホームページで最新情報をご確認ください。

<p>大江千里 ひな祭りジャズ・ライブ 2024年 3/3(日) 15:00～ 中ホール・大地 一般6,000円、子ども・学生1,000円 友の会先行販売 12/17(日)～ 一般発売 12/24(日)～</p>	<p>グランシップ静岡能(宝生流) 2024年 1/27(土) 14:00～ 中ホール・大地 一般5,500円、子ども・学生1,000円 友の会先行販売 10/15(日)～ 一般発売 10/22(日)～</p>	<p>グランシップ冬のおくりもの2023 キノ・イグルーの不思議の国のえいがかん 12/17(日) 10:30～ 大ホール・海 えいが券(事前申込制・当日支払い)500円 申込受付 10/15(日)～</p>
<p>グランシップ寄席 ～柳家喬太郎独演会～ 2024年 3/17(日) 昼の部13:30～/夕の部16:30～ 6階交流ホール 昼の部・夕の部それぞれ 一般3,800円、子ども・学生1,000円 友の会先行販売 12/17(日)～ 一般発売 12/24(日)～</p>	<p>【グランシップ出前公演(磐田市)】 フィンランド発 驚異のハーモニカ・カルテット 「スヴェング」 2024年 1/27(土) 14:00～ アミューズ豊田ゆやホール おとな3,800円、子ども・学生1,000円 友の会先行販売 10/15(日)～ 一般発売 10/22(日)～</p>	<p>グランシップ冬のおくりもの2023 こどもたちのための 静フィルクリスマスコンサート 12/17(日) 14:30～ 大ホール・海 一般1,000円、子ども・学生500円 ※未就学児無料 一般発売 10/15(日)～</p>
<p>坂東祐大音楽公演 2024年 3/20(水・祝) 17:00～ 中ホール・大地 一般5,000円、子ども・学生1,000円 友の会先行販売 12/17(日)～ 一般発売 12/24(日)～</p>	<p>【グランシップ出前公演(島田市)】 第1期グランシップ登録アーティスト セカンド・イヤー公演 2024年 2/23(金・祝) 島田市民総合施設プラザおおるり 500円 友の会先行販売 12/10(日)～ 一般発売 12/10(日)～</p>	<p>H ZETT M×神奈川フィルハーモニー管弦楽団 「新しいチカラ」 2024年 1/21(日) 17:00～ 大ホール・海 S席5,000円、A席4,000円、子ども・学生1,000円 友の会先行販売 10/15(日)～ 一般発売 10/22(日)～</p>

TICKET グランシップ企画事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。(ご購入の際には、友の会へのご入会がお得です。)

グランシップWEBサイトから

- https://www.granship.or.jp/visitors/
- https://ykk1.ka-ruku.com/granship-s/

パソコンまたはスマートフォンで、グランシップWEBサイトのトップページの「チケット購入」から、空席状況に応じてお好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料)

チケットの受取
コンビニ(セブンイレブン、ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料370円)、電子チケット(手数料無料)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)



お電話で

グランシップチケットセンター

TEL.054-289-9000(10:00～18:30)※休館日を除く

チケットの受取 コンビニ(ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料370円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

グランシップチケットセンター窓口で



グランシップ内チケットセンター窓口(10:00～18:30)※休館日を除く

チケットの受取 お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡します。

PRESENT 『GRANSHIP』vol.35 読者アンケートプレゼント

小説家・安壇美緒
サイン入り書籍

1名様

『ラブカは静かに弓を持つ』

『GRANSHIP』vol.35のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、10/15(日)「本と音楽の素敵な出会い『ラブカは静かに弓を持つ』」に出演する小説家・安壇美緒さんのサイン入り書籍1名様にプレゼント! 郵便はがきまたはメールで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りいただくか、グランシップHPの申込フォームよりエントリーください。



[1] 今号でよかった記事は? [2] 本誌へのご意見・感想をお聞かせください。アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報はプレゼントの発送のみ使用します。締切は2023年11月15日(当日消印有効)です。

官製はがき宛先 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号
グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.35 プレゼント係

メール宛先 info@granSHIP.or.jp
(件名に、『GRANSHIP』vol.35 読者アンケート係 とご記入ください)

グランシップHPの専用申込フォームはこちら



編集後記

ピアノが発展した歴史は、時代ごとの演奏者や観客が新しい音楽表現を求めた経緯そのものであると実感しました。これまで多くのピアニストに演奏されてきたグランシップの中ホールにあるスタインウェイのフルコンサートピアノも、これからさらに歴史を重ねていきます。グランシップで様々な響きと出会ってくださいね。

GRANSHIP SUPPORTER



グランシップでは、スタッフと同様にグランシップの運営を支えるボランティアスタッフ約140名が「グランシップサポーター」として活動しています。今回は音楽公演「東京グランド・ソロイスト 三浦一馬[バンドネオン]」で、イベントサポーターがお客様をご案内する様子をレポート!

当日は、この日を心待ちにしていた多くの音楽ファンが来場。サポーターは打ち合わせの後、それぞれの持ち場でスタンバイ。入口で口上を述べた後、一斉に扉をオープン!会場内では、座席を探している方には積極的に声を掛け、遅れて来場された方にはタイミングを見計らいながら案内し、来場者が快適にコンサートを楽しめるようフォローしました。

2024年4月デビュー グランシップサポーター募集!

応募相談会 10/28(土)・11/5(日)各日11:00～12:00予定
グランシップ4階会議室
▶詳しくはホームページをご確認ください。



グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動

グランシップ
子どもアート体験!
学校プログラム

たくさん子どもたちに本物の芸術をお届けする、アウトリーチ活動を実施しています。

「グランシップ
誰もがWonderfulアート」
関連アウトリーチ
「うずを描こう!
ワークショップ」

2023年7月3日(月)
静岡県立伊豆の国特別支援学校
伊豆松崎分校 高等部1～3年生 生徒15名



静岡県文化財団・グランシップでは、県民の皆様様に多彩な文化芸術を体験する機会を多く持っていたため、国内外の芸術家や静岡ゆかりのアーティストによるコンサートやワークショップなどのアウトリーチ活動を各地の文化施設や学校で積極的に実施しています。今回は、富士宮市を拠点に活動する美術家であり演奏家でもある白砂勝敏さんと、県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校で「うずを描こう!ワークショップ」を行いました。

多様な創作活動を行う白砂さんの作品の中に、油絵具でうずを描いた絵画があり、まずはその作品を鑑賞することからスタート。次に、身の回りにあるうずを思い浮かべてみようという白砂さんの呼びかけに、かたつむり、ソフトクリーム、台風など、様々なものが生徒のみなさんからあがりました。そして、それぞれが思い描いたうずを描くために、まずはクレヨン、クレパス、ペン、色鉛筆など好きな画材を選ぶことから始めます。画用紙に大きくうずを描いたり、小さな渦の集合体を描いたり、色、形、大きさ、うずの方向も自由。できた作品から順番に床に並べていき、大きなうずを構成していきます。最後には、56枚の作品による、2つの大きなうずの作品となりました。

色使いなど少しの工夫で違うように見えることに気付けた(生徒)



生き生きと創作活動に専念することが出来た(先生)

生徒のみなさんは、講師と関わりながら作品を作ることでアーティストとの交流を図り、学校の美術の時間とは異なる表現の楽しさを、アートの自由な楽しみ方の一つとして体験できたのではないのでしょうか。この大きな2つのうずの作品は8月26日～9月10日までグランシップで開催された「Wonderfulアート」の会場内に展示されました。

グランシップは、引き続き県内各地で、地域や学校と連携しながら、子どもたちが様々な文化芸術に触れる体験をお届けしていきます。

いろんなうずの作品が沢山描けて嬉しかった(生徒)



授業としての美術ではなく芸術として生徒達が楽しめた(先生)

様々な画材を使って紙いっぱいに渦を描くことができて楽しかった(生徒)



うずをどうやって描くのかを考えて、きれいなうずやおもしろいうずなど描いていい作品が作れた(生徒)

